

令和3年度 事業計画書

部署	法人本部	記入者職氏名	佐伯恵子
----	------	--------	------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員との二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進。

II. 部門目標

1. 財務の安定
2. 人材確保と育成
3. 質の高い福祉サービス
4. 新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進
5. SDGsへの取り組み
6. 本部機能の充実

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 財務の安定
 - 1-1. 収入と支出状況の把握と管理
 - 1-1-1. 事業所毎に管理会計に基づき、収支予算書通りに運営されているか管理する。
 - 1-1-2. 経営企画会議(月2回)において事業所収支状況を把握する。
 - 1-1-3. 企画会議(月1回)を設け各事業所の運営状況について情報共有し、問題がある場合は改善していく。
 - 1-1-4. 予算管理の徹底と会計システムによる財務管理の強化を図る。
 - 1-1-5. 通常予算外の緊急の支出の場合は、理事会承認を得て補正予算を組む。
 - 1-1-6. 事業所の定員や稼働状況を常に分析し、適正な収入確保に向けた取組みを実施する。
 - 1-2. 介護報酬改定に伴う各種加算を取得する。
 - 1-3. 施設の実態にあわせた効率的な雇用形態及び配置管理を行う。
 - 1-3-1. 事業所毎の適正人員を把握し、管理していく。
 - 1-4. 納入業者並びに業務委託契約の見直しを行い経費削減に努める。
 - 1-5. 補助金を積極的に活用する。
 - 1-6. 業務効率化およびペーパーレス化のため、ポータルサイトを構築する。
 - 1-7. 経費削減の取組み
 - 1-7-1. コスト意識を高め経費削減に向けた対策を作成し、法人全体が一体となった取組みを行う。
 - 1-7-2. 業務委託契約の単年度ごとの見直しを行い経費削減に努める。
2. 人材確保と育成
 - 2-1. トータルな人材マネジメント(採用・配置・昇進等)を構築し、管理運営していく。
 - 2-2. 人材確保に向けた取組みの強化
 - 2-2-1. インターネットを活用した迅速かつ適切な広報体制をつくる。
 - 2-2-2. 複数社媒体の比較・洗いだし作業(過去実績・担当者の意気込み等)
 - 2-2-3. ハローワーク、ホームページ等の多様な媒体を通じて機能的に広報活用し人材の確保を行う。
 - 2-2-4. 新規事業として、看護師5名、介護職員21名、介護支援専門員1名、宿直員3名、調理スタッフ2名、運営スタッフ1名を採用目標とする。併せて、退職者の補てんとして、看護師4名、介護職員11名を採用目標とする。
 - 2-2-5. 安定的な人材確保に向け、外国人材(技能実習生等)6名を受け入れる。
 - 2-2-6. 縁故へのアンテナを張り、職員紹介制度の利用の推進していく。
 - 2-2-7. 離職防止に努め定時採用計画を充実させる。

- 2-2-8. 施設見学の機会を増強し人材確保に繋げる。
- 2-2-9. 大学、専門学校、高校との連携を強化する。
- 2-3. 人材定着の計画
 - 2-3-1. 離職率目標・・・法人全体の離職率の目標を7%以下とする。
 - 2-3-2. 目標達成に向けて「新任階層」に対して、正規・臨時・パートともに人材育成のサポート体制を強化する。
 - 2-3-3. 有給取得率10日以上目標とする。
 - 2-3-4. 管理職並びに職員に対するハラスメント防止研修やコミュニケーション研修を実施する。
- 2-4. 人材育成のための環境整備
 - 2-4-1. グループウェアの導入による研修の効率化と情報共有・透明性を図る。(委員会・会議等の記録の開示・閲覧)。
 - 2-4-2. 実践研修を行う。(年2回)
 - 2-4-3. 入社後フォローアップ研修
 - 2-4-4. 入社時受け入れ体制の共通化
- 2-5. 人事考課制度の運用
 - 2-5-1. 考課者マニュアルに沿った考課を行うことで人事考課制度を公平・公正に運用する。
 - 2-5-2. 人事考課における自身の振り返りと各事業所の目標の明確化、共有化を図り、個人目標管理表を活用し成長を促す。
 - 2-5-3. 短期・中期・長期における自身成長計画の導入を検討する
- 3-1. 魅力ある組織づくり
 - 3-1-1. 全事業所にノー残業デイの設定を行い実施継続する。
- 3-2. メンタルヘルス対策
 - 3-2-1. 労働安全衛生法に基づきメンタルヘルス対策として、厚生労働省が提示する4つのケアに取り組む。
 - ①セルフケア(労働者自身による対処)②ラインによるケア(管理監督者による対処)③事業場内の産業保健スタッフ等によるケア(産業医、衛生管理者等による対処)、事業場外資源によるケア(外部機関等による支援)とセーフティネット電話相談窓を利用する。教育研修・情報提供「こころの耳」(厚労省)を活用する。
 - 3-2-2. 全職員にストレスチェック診断を実施する。
 - 3-2-3. 相談窓を設置し相談・申し出が行いやすい環境を整備する。
- 3-5. ハラスメント対策
 - 3-5-1. 令和2年6月からのパワハラ防止法施行に伴い、パワハラ防止に関する周知と啓発及び苦情等に対する相談体制の整備強化を行うとともに、被害を受けた職員へのケアや再発防止に向け、より一層の理解を深めるための研修を実施する。
- 3-6. 利用者や働きたい人から選ばれる恒和会のブランドを確立する。
 - 3-6-1. 法人理念を実践し、地域から信頼され、頼られる法人としてサービスを提供し積極的な情報発信に取り組む。
 - 3-6-2. 休暇制度や健康管理、メンタルヘルス対策などを充実させ働きやすい職場環境づくりをめざす。
 - 3-6-3. 法人の存在価値を高めることで職員の意識を向上させる。
 - 3-6-4. モチベーションアップに向けた勤続表彰制度を整備する。
- 3. 質の高い福祉サービス
 - 3-1. 利用者満足度の把握、施設・サービス内容に関する情報提供の徹底
 - 3-1-1. 利用者満足度、アンケート。(年2回)
 - 3-1-2. 情報提供の徹底、介護記録システム
 - 3-2. グループウェアの導入による法人内委員会等施設間意見交換による問題点の解消・改善
 - 3-3. グループウェアの導入による研修の効率化。
 - 3-4. サービス評価の実施、評価結果に基づくサービスの業務改善
- 4. 新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進
 - 4-1. 令和4年2月の開設に向けて、スケジュール管理表を基に工事関係者との調整、協議等を行い進捗状況の把握管理を行う。合わせて設備、備品等の開設準備を行う。
 - 4-2. 開設に向け行政等との協議を行い、必要な書類の作成を行う。
 - 4-3. マニュアル等、開設時に必要な書類の作成を行う。
 - 4-4. 職員募集を行い、配置職員の確保に努める。
 - 4-5. 地域との関係づくりに取り組む。
 - 4-6. サービス提供体制を整えるため配置職員に対して、開設前研修会等を開催する。
 - 4-7. ご利用者確保のため地域住民や医療機関、介護福祉関連事業者、社会福祉協議会、その他関連機関へのPR、周知活動を行う。
 - 4-8. 職員全員が、専門職としての知識を深めてサービスの質の向上を図るため、積極的に外部研修等に参加し、内部でも定期的に研修会等を開催し、そこで得た知識やノウハウを活かし支援をする。
 - 4-9. 地域との関わりを徐々に深め、ニーズに合わせた地域に貢献できる取り組みを行う。
- 5. SDGsへの取り組み
 - 5-1. SDGsの目的を全職員に理解してもらい研修を行い、共通認識と理解した上で、法人として地域包括ケアシステム構築のために取り組んでいる事をベースに「3. すべての人に健康と福祉を」と「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項

目を重点的に取組んでいく。

5-1-1. 研修を通して職員に理解してもらう

5-1-2. S D G s の取り組みをHPに掲載する。

6. 本部機能の充実

6-1. 理事会・評議員会が円滑に運営できるよう準備していく。

6-2. 事業を取り巻く環境や制度の動向を把握し職員に周知する仕組みを構築する（グループウェアの導入）。

6-3. 各種会議に積極的に職員を出席させ情報の収集を図る。

6-4. 経営企画会議を充実させ戦略的な討議を重ねるとともに確実な情報共有を進める。

6-5. 法改正や制度改正に迅速に対応できるよう情報収集力を高め、法人の現状分析と将来ビジョンを検討する。

6-6. 常に各事業所の状況を把握し業務支援体制を整える。

6-7. 法人本部を中心とした事務管理体制の強化と業務効率化を図る（グループウェアの導入）。

6-8. 災害等の緊急事態等に備えるために、事業継続計画を確立させ、各事業所に周知徹底を図る。

令和3年度 事業計画書

部署	法人本部（ばんびいな）	記入者職氏名	立山 裕美
----	-------------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進。

II. 部門目標

1. 「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設を目指す
2. 子育て支援の働き方改革に取り組む

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 心の通うゆうわ苑、真のホスピタリティのある施設
 - ① 利用者、職員、地域の方々に挨拶をし、交流を深め、輪を広げていけるような子どもたちを育てる支援をしていく
 - ② 職員や利用者に安らぎを与えられることができるような活動を子どもたちと取り組む
2. 子育て支援の働き方改革に取り組む
 - ① 職員の子育てと就労を両立する事が出来るよう、子どもの保育の面から法人として支援する
 - ② 子育てに関する悩み等を気軽に相談できる関係づくりに努める。ITを使つての情報発信や情報共有に努める。
 - ③ 保育施設の整備により、保育施設に関する課題により就労が望めなかった人材確保に努める
 - ④ 子ども保育環境を整え、発達年齢（個々の発達）に応じた目標を立て目標達成に努める
 - ⑤ 一年を通して個々に線遊びを定期的に行い、子どもの発達の推移を確認する。一対一での関りをしっかり行い、子どもの情緒の安定を図るよう努める。
 - ⑥ 初めての子育ての保護者には、子育てにおいてのアドバイスをいっていく。
 - ⑦ 年間計画を立て、季節ごとに応じた行事を経験できるよう努める
 - ⑧ 他事業所等への訪問を行い、三世代交流に努める
 - ⑨ 年1回利用者と一緒に楽しめる活動を考えていく（11月3日運動会）

令和3年度 事業計画書

部署	本部居宅	記入者職氏名	山根 優子
----	------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進。

II. 部門目標

1. 介護支援専門員としての専門性を高め、質の向上を図る。
2. 各関係機関や地域との連携を強化し、多様な福祉ニーズへの対応を行う。
3. 業務の効率化をはかる。
4. 介護保険制度に基づいた安定した運営を行う。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 介護支援専門員としての専門性を高め、質の向上を図る。
 - ①法人内外の研修等への参加。
 - ②居宅内カンファレンスを週1回実施する。
2. 各関係機関や地域との連携を強化し、多様な福祉ニーズへの対応を行う。
 - ①法人内外の連携や情報共有の場への出席、利用者の個々の状況に応じた必要な連携等を行う。
 - ②法人内の行事や取り組みへの協力。
3. 業務の効率化をはかる。
 - ①個々のスキル向上、業務全体の見直しや改善、情報共有による標準化や平均化、等を行って超過勤務や業務負担感を減らす。
 - ②年末年始、夏期、大型連休時は計画的に有給休暇を消化する。
 - ③多様な勤務形態や柔軟な働き方にも対応できるような業務体制の検討、構築。
 - ④地域におけるICT、IoT、ネットワーク等を活用したサービス連携の実情を把握し、必要時は活用にも検討する。
4. 介護保険制度に基づいた安定した運営を行う。
 - ①委託業務を含めた毎月の収入や件数、サービス紹介率等を把握。
 - ②利用者動向（新規、介護度変化、入退院等）を把握し、確実な加算算定や動向の分析を行う。
 - ③2021年度の制度改正、報酬改正を理解し、正しい運営を行う。

令和3年度 事業計画書

部署	グループホーム	記入者氏名	中元 勝洋
----	---------	-------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設、運営。

II. 部門目標

1. 地域の方に喜ばれる施設になる。
2. 働きやすい職場環境を整える。
3. 自立支援に努める。
4. 家族支援に力をいれる。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 地域の方に選ばれる施設になる。
 - ミーティング等の機会を利用し、職員の業務に関わる知識・技術の向上を図る。
 - ・SDGsへの理解を浸透させる。
 - ・利用者の尊厳を守る接遇を意識し、ホスピタリティの浸透を図る。
 - ・職員がグループホームの現状を理解することで実施すべき項目を共有し、サービスの向上を図る。
 - 地域の行事等に積極的に参加し、地域の方との繋がりを持ち、コミュニケーションを図る。
 - コンシェルジュとの連携を行い、待機者の確保及び情報の更新を行う。
2. 働きやすい職場環境を整える。
 - 現状の職員の勤務状況や介護職員の意見等を随時取り入れ、業務改善を行い職員の負担の軽減を行う。
 - 有給休暇の消化を促進し、休みやすい環境を整える。
3. 自立支援に努める
 - 身体機能の維持・向上を主観に置いたサービスの提供を行う。
 - ・各利用者に合わせた生活リハビリを実施する。
 - ・利用者ごとに目標とする項目を定めることにより、実施するサービスを明確化し職員のモチベーションにも繋げる。
 - リハビリと連携をとり、機能低下を防ぐ。
4. 家族支援に力を入れる
 - 定期的に利用者の情報の共有を家族と行えるようにする。
 - ・家族に対し、毎月の利用者の様子等を文書にて報告する。
 - 家族とのコミュニケーションを密にし、家族の思いを知る。
 - ・文書によるアンケート等により、面会等の直接顔を合わせることが難しい状況でも定期的に家族の意見を聞く機会を作る。
 - 主治医、家族と連携をはかり、体調管理を行う。
 - 訪問看護との連携をはかり、家族が安心できる介護を実施する。

令和3年度 事業計画書

部署	ソーシャルコンシェルジュ	記入者職氏名	川口 欽市
----	--------------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設、運営。

II. 部門目標

1. 収入目標の達成
2. コロナ禍における家族支援の在り方を考え実践し、ご家族との二人三脚での利用者支援方法を構築する
3. 新規事業利用者の確保
4. 働きやすい職場環境の整備

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標の達成
 - ①在宅復帰在宅療養支援加算Ⅱの継続算定を行う為、指標が毎月70点を超えるように3か月先の点数管理を行う。
 - ②老健の月間平均稼働率97%を維持する為に、2か月先の入退所の予定の作成、および入退所日の調整スキルを向上する。
 - ③予期せぬ空床発生時（急な入院）に、早期にショートステイ受け入れができるように、日頃から居宅との情報共有を行う。
 - ④関係医療機関、居宅への広報活動を月1回、空き情報のお知らせを週1回継続して行う。
2. コロナ禍における家族支援の在り方を考え実践し、ご家族との二人三脚での利用者支援方法を構築する
 - ①コロナ感染予防に留意した面会方法や、面談方法、カンファレンスの方法、在宅復帰に向けた外出支援などの方法を構築する。
 - ②①に基づき、家族支援を行い、家族の意識を「常時施設での生活」から「在宅での生活（必要に応じて施設の利用）」へと変化させる。
 - ③利用者の在宅復帰件数を増やす。
3. 新規事業利用者の確保
 - ①老健としての広報活動の際に、新規事業対象者となる利用者確保のための広報活動も行う。
 - ②新規上の利用希望者はいらっしゃれば、新規事業開始までの間のサービス調整を図り、必要に応じて老健入所を進めていく。
 - ③既存の入所者、特に新規事業のコンセプトに合う入所者に対して、事業の説明を行い、在宅復帰を目指す。
4. 働きやすい職場環境の整備
 - ①有給休暇取得を促し、全職員年間10日以上の有給取得を行う。
 - ②部署内での毎朝夕のミーティング、定期的な上司と部下の面談を通し、悩みや課題の共有、フォローを早期に行う。
5. 経費節減
 - ①エアコンの増設を加味しながら、最適なデマンド値の設定を行う。エアコンの使用について、厨房の業務も含めて、建物全体で電力の消費をコントロールする。
 - ②古くなっている電化製品も多く、蛍光灯も含めて、ランニングコストと買い替え代金のシュミレーションを行う。
6. 事故ヒヤリハットの削減
 - ①入所時のリスク評価をより有効的にするため、カンファレンスでの情報共有を行う。定期的な評価、事故発生時の評価と対応をマニュアル化する。

令和3年度 事業計画書

部署	老健2階	記入者職氏名	波多野 真吾
----	------	--------	--------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進。

II. 部門目標

1. 結果に基づく自立支援介護に努め、SDGs「11. 住み続けられるまちづくりを」の項目に重点的に携わる。
2. 職員の業務負担の軽減に努める。
3. ホスピタリティの充実したサービスを提供する。
4. ヒヤリハット・事故報告の削減
5. 経費削減を部署全体で協力して行う

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 結果に基づく自立支援介護に努め、SDGs「11. 住み続けられるまちづくりを」の項目に重点的に携わる。
 - ①入所者、家族の状況や思いを確認するため、相談員の入所前訪問に可能な限り同行する。
 - ②部署ミーティングにて入所者の今後の方向性について進捗確認し、現場での必要な支援を話し合い多職種共同で実施する。
2. 職員の業務負担の軽減に努める。
 - ①眠りスキャン活用の為のマニュアルを作成する。
 - ②介護用リフトの使用推進及び、スライドシートやスライドボードのマニュアルを作成し取り入れていく。
 - ③有給休暇を取得しやすい環境作り。
3. ホスピタリティの充実したサービスを提供する
 - ①言葉使いや介護方法について、職員間で思いやりのある注意ができる環境をつくる。
 - ②コロナ禍で外からの目が入りづらくなった部署内において、環境整備や丁寧な対応を、気を緩めず徹底する。
4. ヒヤリハット・事故報告の削減
 - ①ヒヤリハットを積極的に記入し、情報交換する。情報はカルテに落とし、新規職員でも把握できる状態にする。
 - ②利用者家族との情報共有にてトラブルの軽減に努める。
5. 経費削減を積極的に行う
 - ①排泄表を週1回見直し、パット類の適正数を常に把握する。
 - ②部署ミーティングにて目標を定め、目に見える形で月1回報告を行う。

令和3年度 事業計画書

部署	老健3階	記入者職氏名	田房 聡子
----	------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員との二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進。

II. 部門目標

1. 「11. 住み続けられるまちづくりを」の項目を下に、在宅⇄施設入所のルートの確立。
2. ホスピタリティの充実したサービス提供に努める。
3. ヒヤリハット・事故報告の削減

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 「11. 住み続けられるまちづくりを」の項目を下に、在宅⇄施設入所のルートの確立。
 - ①判定会議に出席し、あらゆる職種と連携を図り、情報収集をするとともに、今後の方向性の検討。
 - ②入所前の自宅訪問への同行。現場への情報共有に努める。
 - ③入所時に、ご家族様としっかりコミュニケーションを図り、ご家族様の想いをくみ取る。また、利用者様とご家族様の背景を把握していく。
 - ③現場でのミーティングを密に行い、利用者様の把握、方向性の統一化を図る。
 - ④2Wカンファレンス、3か月カンファレンスは定期的に行い、現場での情報の共有に努める。また、ご家族様との情報交換、共有の場につなげる。随時、カンファレンスや自宅訪問をし、家族とのつながりを持っていく。
2. ホスピタリティの充実したサービス提供に努める。
 - ①職員自身のホスピタリティを高めるために、目指したい目標を設定し、働く目的を明確化する。
 - ②現場がひとつのチームとなり、求められているものは何か考える。
 - ③利用者様と接するときのマナーやコミュニケーションについて共有する。
3. ヒヤリハット・事故報告の削減
 - ①利用者一人一人の環境、身体機能の把握。
 - ②ヒヤリハットが上がった場合は、現場にてカンファレンスを開き、多職種と連携し、情報交換する。また、介護方法の統一化。
 - ②ヒヤリハットを活用し、事故発生を防ぐ。
 - ②利用者家族との情報共有にてトラブルの軽減に努める。

令和3年度 事業計画書

部署	老健4階	記入者職氏名	石原 絵美
----	------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員との二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進。

II. 部門目標

1. 「11. 住み続けられるまちづくり」の項目に重点的に取り組み、利用者様・ご家族様に安心感のある在宅復帰を目指す。
2. 働きやすい職場作りを実現する
3. ホスピタリティの充実したサービスの提供を行う。
4. ヒヤリハット・事故報告の削減

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 「11. 住み続けられるまちづくり」の項目に重点的に取り組み、利用者様・ご家族様に安心感のある在宅復帰を目指す。
 - ①現場スタッフが入所前訪問へ同行する。(入所前の情報収集・情報共有の徹底) その際に、入所前の利用者様、ご家族様に入所中のリハビリ・生活のイメージをして頂きやすい資料の作成・情報提供を行う。(入所前後のギャップの解消・よりスムーズな苑生活への移行を目指す)
 - ②判定会議への確実な出席。より多くのスタッフが他職種との連携、情報収集が行えるように部署内研修を行う。
 - ③入所時のオリエンテーリングの見直し。(ご家族様とのコミュニケーションを重視し、入所者様・ご家族様の意向の把握に努める)
 - ④受け持ちが主体となり、ミーティング等を活用して入所者様の現状把握・情報の共有に努め、統一されたサービスを実施する。
 - ⑤定期的なカンファレンスを実施し、家族の意向・情報収集に努め、家族とのつながりを持続していく。
2. 働きやすい職場作りを実現する
 - ①中途採用(派遣スタッフ、パートスタッフを含む)者に対するオリエンテーリングの見直しを行う。内容のひな形を作成し、配属が決定した段階で担当者、実施期間等を盛り込んだ長期的な計画書を作成し、実施状況の可視化を図る。また、既存職員が計画書に沿った指導が行えるよう、部署内研修を定期的実施する。
 - ②10回/年の有給取得を行う。
 - ③ミーティングの実施をこまめに行い、現場内の意見交換を積極的に行っていく。
3. ホスピタリティの充実したサービスの提供を行う。
 - ①各職員が意見を出し合い、部署全体として求められるサービスを明確にする。
 - ②利用者様に対する接遇(挨拶や声掛け・言葉づかいをはじめとしたコミュニケーション方法を中心)について、互いが思いや

りをもって注意し合える環境を構築する。(意見交換の場を多くもつ、定期的な部署内研修(事例検討・資料配布等)の実施)

③老健全体での忌憚のない意見交換(環境整備や接遇対応について)を実施し、気を付ける習慣を意識づける。

4. ヒヤリハット・事故報告の削減

①入所時より、定期的に利用者一人一人の居室環境、身体機能の把握を行う。

②事故報告だけでなく、ヒヤリハット発生時にも現場にてカンファレンスを開き、多職種と連携し、情報交換を行う。決まった対策を統一して行うよう、申し送りを徹底する。

③利用者家族との情報共有することで、トラブル・苦情の軽減に努める。

令和3年度 事業計画書

部署	通所リハビリ	記入者職氏名	田房 利一
----	--------	--------	-------

I. 法人事業目標

- 1) 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に
尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆう
わ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の
安定・人材育成を図る。
- (2) SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続け
られるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
- (3) 結果に基づく自立支援介護に努める。
- (4) コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごし
ていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
- (5) 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々
への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
- (6) 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、
財務の安定化に努める。
- (7) IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
- (8) 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、
コミュニティカフェの開設、運営。

II. 部門目標

1. 地域から選ばれる事業所となれる様、ホスピタリティのある事業所となる。
2. 収入目標を達成する。
3. 働きやすい職場環境を整える。
4. 自立支援介護の徹底。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 常に利用者様、ご家族様の立場に立ち、ホスピタリティのある事業所となって活動する。
 - ・「真心」「誠実」「融和」の理念に基づく接遇を心掛ける。
 - ・毎月の報告以外にも、ご家族様やケアマネジャー等へは、細目に連絡を入れるようにする。
 - ・業務内においては「～させて頂く」「有難う御座います」の気持ちで常に接していく。
 - ・常に笑顔を決やさないで業務に携わる。
2. 収入目標を達成する。
 - ・営業ツールの作成と、毎月の営業活動を継続する。
 - ・営業内でのヒヤリハットや事故を防ぐ。
 - ・休みに対して、積極的な振り替えの提案を行う。
 - ・入院者や長期利用中止の方へのフォローを行う。
 - ・医療依存度が高い方や重度な方の受け入れを行う。
 - ・デイサービスとの違いを明確にする様、リハビリ色を強く出し、リハビリ内容の質を上げ、リハビリ量を増やす。
 - ・上位加算を取れる様に介護福祉士スタッフの確保や入浴計画書の作成を行う。
 - ・IT導入で常に新しい情報を伝える。(トレーニング方法やキネシスの利用、キーシステム利用)
 - ・新しくリハビリ機器を導入し、より様々なパワーリハビリの提供を図る。

- ・電力使用量の意識付けとフロアエアコンの適正温度の推進を図る。

3. 働きやすい職場環境を整える。

- ・業務改善を継続して行っていく。
- ・毎月の残業は4h以内で行うようにする。
- ・有給休暇の消化を促し、年10日以上取得を行い、心身の負担軽減とリフレッシュを図る。
- ・スタッフ間のコミュニケーションを図り、離職者ゼロを目指す。
- ・職員間でのホスピタリティ精神を大切に業務にあたる。
- ・定期的な面談の実施。

4. 自立支援介護の徹底。

- ・残存能力の維持向上を共通目標とし、出来る能力のある方へ行動に移すよう声かけを行う。(お世話型→自立支援型)
- ・生活動作の向上の為、環境整備をする。
- ・外出支援、家庭訪問を積極的に行う。
- ・個別リハビリプログラムを多職種で共有、実施していく。
- ・楽しみを持ってDCへ利用、リハビリ参加が出来るようポイント制を導入し、ポイント獲得に応じて様々なサービスを提供する。

令和3年度 事業計画書

部署	地域包括支援センター南部支所	記入者職氏名	石本 優太
----	----------------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設、運営。取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設準備。

II. 部門目標

1. 地域包括支援センター南部支所職員として、本所や法人との連携を図りながら、地域住民が住み慣れた地域での生活が継続できるような業務の質を向上させていく。
2. 地域特性等に応じた包括的支援事業及び介護予防支援事業が円滑に実施できるよう、各関係機関との連携強化を継続して図っていく。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 地域包括支援センター南部支所職員として、本所や法人との連携を図りながら、地域住民が住み慣れた地域での生活が継続できるような業務の質を向上させていく。
 - ①基本的には本所との報告・連絡・相談を随時行い、適切な包括的支援業務、指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントを遂行する。
 - ②各支部との連携をより強化し、情報共有を目的とした支部会に月1回出席する。
 - ③時間外や超過勤務は基本的にはないような業務の見直しや改善を検討していく。
 - ④介護予防・健康づくりの推進となる活動へは積極的に協力、参加していく。
2. 包括的支援事業及び介護予防支援事業が円滑に実施できるよう、各関係機関との連携を強化する。
 - ①本所や関係機関が実施する、円滑な相談体制確保の為に研修やネットワーク作り等への協力、参加を行う。
 - ②日常生活圏域における民生委員協議会(阿月、伊保庄)へ月1回出席する。
 - ③市(高齢者支援課及び社会課)や地域の医療機関、介護(介護予防)サービス事業所や民生委員等と協力しながら、総合相談支援業務を遂行する。

令和3年度 事業計画書

部署	訪問リハビリ	記入者職氏名	西 依 昌 子
----	--------	--------	---------

I. 法人事業目標

- (1) 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
- (2) SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
- (3) 結果に基づく自立支援介護に努める。
- (4) コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
- (5) 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
- (6) 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
- (7) IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
- (8) 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設、運営。

II. 部門目標

1. 在宅生活を希望される方へのリハビリテーションを行い、在宅生活支援に尽力いたします。
2. 複合施設であるメリットを活かして様々なサービスとの連携ができる事業所を目指します。
3. 独居でも、認知症でも、障がいがあっても、慣れ親しんだ自宅で幸せに暮らせるように尽力いたします
4. 支えるご家族様の心身のサポートをいたします。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 在宅生活における課題解決に必要な知識や技術を毎月のミーティング時に行う勉強会で学ぶ
2. 他事業所との連携を密にとることにより在宅生活をより充実したものにす。

令和3年度 事業計画書

部署	トータルケア	記入者職氏名	井上 初代
----	--------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設、運営。

II. 部門目標

1. 法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設を作る。
2. SDGsに基づく「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」への取り組み。
3. 収入目標を達成する。
4. 新規事業取り組みの土台を作る。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設を作る。
 - ・ご利用者様の日常の会話や、ご家族からの声を大切にされた個別計画を立て、個々の自立に向けた支援を行う。
 - ・朝礼やミーティングを活用し接遇意識の向上を図る。
 - ・訪問時の服装や言葉使いを意識して印象を良くする。
 - ・公用車運転時等の運転マナーや事故対防止を徹底する
2. SDGsに基づく「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」への取り組み、地域から選ばれる施設になる。
 - ・SDGsについて職員教育を実施する。
 - ・介護に関わる相談を受ける機会を設け、地域の方が地域で安心して住める街に貢献する。
3. 収入目標を達成する。
 - ・目標設定した営業を実施する。(毎月20件)
 - ・紹介元への利用状況報告書を作成し配布する。
 - ・通い、泊りを訪問に切り替え、ご利用者の在宅での生活の充実と、職員不足に対する対応のWINWINを確立。又、訪問加算の継続へも繋げる。
4. 新規事業取り組みの土台を作る。
 - ・看護師、訪問看護と連携をとり、医療が必要な方の受け入れを行う。
 - ・関わりが困難な方の受け入れを行う。
 - ・緊急時の対応ができるようにする。
 - ・新しくできる看多機との連携を図り、よりよい介護が出来るようにする。
 - ・老健との行き来となったり、在宅復帰の選択肢となる。

令和3年度 事業計画書

部署	ヘルパーステーション	記入者職氏名	リーダー 原 貴史
----	------------	--------	-----------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進。

II. 部門目標

1. スムースな休止移行に向けた取り組み

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. スムースな休止移行に向けた取り組み
 - ①お客様にご迷惑がかからないよう、5月末日をもって休止とする
 - ②理事会にて休止決定後、ご利用者様には速やかに報告する。
 - ③今後の代替サービスとして定期巡回を提案する。

令和3年度 事業計画書

部署	定期巡回サービス	記入者職氏名	リーダー 原 貴史
----	----------	--------	-----------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員との二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. **新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進。**

II. 部門目標

1. 医療と介護の連携を強化し医療難民者の少ない地域を創設する
2. 独居でも安心して生活できる地域を作り上げる
3. 医療と連携できる人材育成

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 医療と介護の連携を強化し医療難民者の少ない地域を創設する
 - (1) 医療機関と連携強化のための戦略を立て実行する
 - ア. 医療機関と連携強化のための必要な情報を収集する。
 - イ. 医療（特に主治医）へのタイムリーな報告により、主治医の目となる。
 - (2) 最小限度の人員で最高のサービスを提供する体制づくり
 - ア. IT機器、技術の導入促進で業務手順の効率化（現有定期巡回ソフトの改良、眠りスキャンの活用等）を行う。
 - イ. 医療機関とのタイムリーな情報のやり取りを実現する。
 - ウ. 現在の定期巡回システムを改良し、主治医がいつでも担当患者の情報にアクセスできるシステムを構築する。
 - エ. 同一拠点にある住宅型有料老人ホーム、訪問看護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所のスタッフが、これらの事業所の間を、法令を遵守したうえで相互の業務に従事できる体制を構築する。
2. 独居でも安心して生活できる地域を作り上げる
 - (1) 遠方に居住する家族が安心して生活を継続できる体制を構築する。
 - ア. ケアの内容を家族が目にすることができるよう、現行システムを改良する。
 - イ. 保険外サービスとの併用で、帛省せずとも用件が叶う体制づくりを行う。
 - (2) サービスの知名度をさらに浮揚させ普及を図る
 - ア. 医師会、医療機関の医療地域連携部署、介護支援専門員協議会などで事例紹介を行う。
 - イ. 基幹病院の主催する情報交換会等でサービス紹介を行う。
 - (3) 現在の利用者の満足度を高め、サービスの信頼を得る
 - ア. ITの導入、現行システムの改良により家族へタイムリーな情報提供を行う。
3. 医療と連携できる人材育成
 - (1) 医療ケアに関する勉強会を定期的に（毎月テーマを決めて）実施する。
 - (2) 看取りを可能にする体制を確立する。

令和3年度 事業計画書

部署	ケアハウス	記入者職氏名	課長 笠本 典男
----	-------	--------	----------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員との二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進。

II. 部門目標

1. 月初満床、実質稼働率98%
2. 平均介護度2.2～2.3の維持
3. 有給休暇取得 最低10日/年・人
4. 職員離職率0%
5. 余暇活動・自立支援の充実
6. コロナ禍における新しい家族支援の取り組みを行う

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 月初満床、実質稼働率98%
 - 1-1. 退所調整を月15日までに進行
 - 1-2. 転倒等による入院・身体能力の低下を予防する為の転倒対策として原因の究明、センサーマットや眠りスキャンの導入を行う
2. 平均介護度2.3～2.4の維持
 - 2-1. 入居者の順番調整を行う
 - 2-2. 個別機能訓練、個別リハビリによる状態の維持
3. 有給休暇取得 最低10日/年・人
 - 3-1. 四半期ごとに3日取得を勧めていく
4. 職員離職率0%
 - 4-1. 定期的に面談を行い、早期の問題把握を行う
 - 4-2. 定期的なミーティングを行い、現場の意見を取り入れての業務改善・負担軽減を行う
 - 4-3. 良い雰囲気作りの為の挨拶を徹底する
5. 余暇活動・自立支援の充実
 - 5-1. 月事の特別行事を2～3つ行う
 - 5-2. 各階担当による利用者様の生きがいや願いの実現
 - 5-3. 介護職による生活リハビリの時間を確保し、機能低下を防ぐ
6. コロナ禍における新しい家族支援の取り組みを行う
 - 6-1. 写真や本人からの手紙等を送付する事によって、状況を伝える
 - 6-2. 事故報告の基準を明確にし（ヒヤリハットには家族への連絡欄がない為）、家族に確実に状況を報告する。

令和3年度 事業計画書

部署	シンシアゆうわ	記入者職氏名	西村 昌弘
----	---------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現する。
2. SDGsに基づく「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」への取り組み。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が未永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 障がい者の方々の「生活介護」における高齢者との一体的サービスの提供と就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、安定した法人経営に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設準備。

II. 部門目標

1. 収入目標達成のために
2. ユニットケア体制の構築を行い、入居者様の暮らしの継続を支援する
3. ICTの活用による職員の負担軽減・職員の離職防止に努める
4. シンシアゆうわにおける感染症・災害が発生した場合の業務持続可能計画を策定する
5. シンシアゆうわにおける地域との共存

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標達成のために
 - 1) 特養待機者上位10名に3か月に1回声掛け・情報収集を行い、待機者家族との関わりを深める
 - 2) 介護福祉士を常勤換算5.0人以上配置し、日常生活継続支援加算Ⅱを継続算定する(年間収入4,869,100円)
 - 3) 褥瘡マネジメントを継続算定し寝たきり・重度化を防止する
 - 4) 栄養ケアマネジメント強化加算(11単位)の算定要件を理解する
 - 5) 空床が出来た場合はショートステイの空床利用を活用し、特養・ショートの全体稼働率を維持する
 - 6) 特養申し込みインターク面談にて、申し込み者のニーズに応じて恒和会内の他事業所を紹介・調整を行い、入所待機期間を恒和会のサービスでフォローする
 - 7) 介護保険2021年度改正内容を理解し、事業継続に必要な情報の取得をする
2. ユニットケア体制の構築を行い、入居者様の暮らしの継続を支援する
 - 1) 毎月ユニットミーティングを実施し、24Hシートの活用による個別ケア・自律支援を行う
 - 2) 職員一人ひとりがホスピタリティの精神を取り入れ、入居者様・ご家族様へ選ばれた施設を目指す
 - 3) ユニットでの炊飯・盛り付けを行う
 - ①朝食・昼食・夕食3食の炊飯を行う
 - ②昼食時におかずの盛り付けを実施する
 - 4) 入居者様の生活スタイルに合わせた常備食管理を行う
 - ①常備食管理のマニュアルを作成する
 - ②入居者の生活スタイルに合わせた起床時間・食事時間を整える
 - 5) 外出・施設内での季節の行事の実施(年4回以上の外出レクを実施する)
 - 6) ユニットケアの浸透(ユニットリーダー研修を年2回参加・ユニットリーダーによる苑内研修の実施)
 - ①ユニットリーダー研修に年2回(前期・後期各1名)受講する
 - ②ユニットリーダーによるユニットケア研修を令和3年4月に実施する

3. ICTの活用による職員の負担軽減・職員の離職防止に努める

- 1) 眠りスキャン・インカム・移乗用リフト等の機器を導入し職員の介護負担を軽減する
眠りスキャン活用による夜間における人員の緩和を行う
- 2) プリセプター制度の再構築を行い、職員が働きやすい環境を整える
- 3) ユニットリーダーにより新人育成システムの構築
- 4) ユニットでの研修実施、ICT活用による外部研修の実施（認知症介護基礎研修等）
- 5) シンシアゆうわにおけるハラスメント対策の強化を図る
- 6) 入居様のリスクアセスメントを定期的に行い、事故防止に努める
- 7) 環境や物品等の管理を行い、経費削減に努める

4. シンシアゆうわにおける感染症・災害が発生した場合の業務持続可能計画を策定する

- 1) 感染症・災害時に事業を持続可能にする仕組みづくり⇒感染予防マニュアル・感染予防研修・想定訓練実施（年1回）

5. シンシアゆうわにおける地域との共存

- 1) シンシアふれあい祭りを地域の祭りとして地域住民を巻き込み継続開催する
- 2) 認知症サポーター養成講座や地域の福祉学習・ボランティア活動に参加
- 3) シンシア家族会実施に向けての取り組み
- 4) シンシアによるシルバー・障がい者雇用促進の取り組み
- 5) 地域交流スペースを地域住民の活動の場所として提供し、開かれた施設を目指す

令和3年度 事業計画書

部署	シンシア短期入所	記入者職氏名	宮本 晃輔
----	----------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現する。
2. SDGsに基づく「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」への取り組み。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 障がい者の方々の「生活介護」における高齢者との一体的サービスの提供と就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、安定した法人経営に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設準備。

II. 部門目標

1. 収入目標達成のために
2. ユニットケア体制の構築を行い、入居者様の暮らしの継続を支援する
3. ICTの活用による職員の負担軽減・職員の離職防止に努める
4. シンシアゆうわにおける感染症・災害が発生した場合の業務持続可能計画を策定する
5. シンシアゆうわにおける地域との共存

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標達成のために
 - 1) 急遽利用中止による空床を、急遽対応できる利用待機者を確保し稼働率の減少に努める
 - 2) シンシア居宅・他事業所へ定期的に情報提供、空床状況を発信する。
 - 3) 介護保険 2021年度改正内容を理解し、事業継続に必要な情報の取得をする
2. ユニットケア体制の構築を行い、入居者様の暮らしの継続を支援する
 - 1) 毎月ユニットミーティングを実施し、24Hシートの活用による個別ケア・自律支援を行う
 - 2) 職員一人ひとりがホスピタリティの精神を取り入れ、入居者様・ご家族様に選ばれる施設を目指す
 - 3) ユニットでの炊飯・盛り付けを行う
 - ①朝食・昼食・夕食3食の炊飯を行う
 - ②昼食時におかずの盛り付けを実施する
 - 4) 入居者様の生活スタイルに合わせた常備食管理を行う
 - ①常備食管理のマニュアルを作成する
 - ②入居者の生活スタイルに合わせた起床時間・食事時間を整える
 - 5) 外出・施設内での季節の行事の実施（年4回以上の外出レクを実施する）
 - 6) ユニットケアの浸透（ユニットリーダー研修を年2回参加・ユニットリーダーによる苑内研修の実施）
 - ①ユニットリーダー研修に年2回（前期・後期各1名）受講する
 - ②ユニットリーダーによるユニットケア研修を令和3年4月に実施する
3. ICTの活用による職員の負担軽減・職員の離職防止に努める
 - 1) 眠りスキャン・インカム・移乗用リフト等の機器を導入し職員の介護負担を軽減する
眠りスキャン活用による夜間における人員の緩和を行う

- 2) プリセプター制度の再構築を行い、職員が働きやすい環境を整える
 - 3) ユニットリーダーにより新人育成システムの構築
 - 4) ユニットでの研修実施、ICT 活用による外部研修の実施（認知症介護基礎研修等）
 - 5) シンシアゆうわにおけるハラスメント対策の強化を図る
 - 6) 入居者様のリスクアセスメントを定期的に行い、事故防止に努める
 - 7) 環境や物品等の管理を行い、経費削減に努める
4. シンシアゆうわにおける感染症・災害が発生した場合の業務持続可能計画を策定する
- 1) 感染症・災害時に事業を持続可能にする仕組みづくり⇒感染予防マニュアル・感染予防研修・想定訓練実施（年1回）
5. シンシアゆうわにおける地域との共存
- 1) シンシアふれあい祭りを地域の祭りとして地域住民を巻き込み継続開催する
 - 2) 認知症サポーター養成講座や地域の福祉学習・ボランティア活動に参加
 - 3) シンシア家族会実施に向けての取り組み
 - 4) シンシアによるシルバー・障がい者雇用促進の取り組み
 - 5) 地域交流スペースを地域住民の活動の場所として提供し、開かれた施設を目指す

令和3年度 事業計画書

部署	シンシアデイサービス	記入者職氏名	浅井 英勇
----	------------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現する。
2. SDGsに基づく「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」への取り組み。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が未永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 障がい者の方々の「生活介護」における高齢者との一体的サービスの提供と就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、安定した法人経営に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設準備。

II. 部門目標

1. 稼働率70%以上を達成する。
2. 利用者・職員が共創し、相互満足できるデイサービスにする。
3. 事故を防止し健康寿命を延ばせるデイサービスの構築。
4. 自立型デイサービスを目指す。
5. 家族会の実施
6. 経費削減

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 稼働率70%以上を達成する
 - ① ケアマネージャーと密に連絡・報告・相談し、信頼のあるデイサービスにする。
 - ② 居宅への営業を月4回15件以上行う
 - ③ 居宅へのアピールとして毎月のデイ通信を作成、デイの特徴を載せ、配布する
2.
 - ① ホスピタリティの研修を、年2回行う。
 - ② 職員だけの考えを実行するのではなく、利用者の意見も取り入れた活動を行っていく。
3.
 - ① 寝たきりになる要因の、転倒、転落等による事故率を0%にする。
 - ② 効率よく運動、リハビリができるよう、ADLに応じたグループ分けし行う。
 - ③ 利用者同士のコミュニケーションを増やし、孤立することを防ぐようにする。
 - ④ 送迎時による、車両事故を起こさないように安全運転の徹底。
4.
 - ① 来苑時、当日に行いたい作業（リハビリ等）を自分で決めてもらうことを浸透させる。
 - ② 配膳、下膳、食器洗い、髪乾燥等、自分でできることを行ってもらうように、声掛けをする。
 - ③ 自立支援できるように、環境を整える。
5. シンシアでの家族会実施に向けた取り組みを行う。
 - ① 本部で開催される家族会に参加し、家族会に関する情報を得る
 - ② 本部の家族会関係者との連携を取り、実施計画を作成する。
 - ③ 家族会の実施日を決定する
6. 経費削減
 - ① 利用者が乗車していない時のアイドルングストップを徹底する。
 - ② 冷暖房の適正温度での使用を徹底する。

令和3年度 事業計画書

部署	シンシア小規模多機能型居宅介護	記入者職氏名	吉崎 和江
----	-----------------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現する。
2. SDGsに基づく「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」への取り組み。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 障がい者の方々の「生活介護」における高齢者との一体的サービスの提供と就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、安定した法人経営に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設準備。

1. 法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設を作る。
2. SDGsに基づく「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」への取り組み。
3. シンシア家族会を構築する。
4. 新規事業の取組み。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標を達成する。
 - ① 1か月の30件の営業を実施する。
 - ② 紹介元への利用状況報告書を作成し配布する。
 - ③ 訪問件数400回/月のプランを立案する。
2. ホスピタリティのある施設作り及び自立支援をする。
 - ① ご利用者様の生活歴シートを活用した個別ケア実施し、個人に合った自立を支援する。
 - ② 朝礼やミーティングを活用し接遇意識の向上を図る。
 - ③ 訪問時の服装を確認し印象を良くする。
 - ④ ご利用者様宅訪問時や公用車運転時等の事故対防止について注意を徹底する
3. SDGsに基づく「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」への取り組み。
 - ① SDGsについて職員教育を実施する。
4. シンシアの家族会を構築する。
 - ① シンシアの家族会の実施に向けて本部と連携を取り進める。
5. 新規事業の取組み。
 - ① 小規模多機能で収集できた情報を随時、管理部へ提供する。

令和3年度 事業計画書

部署	シンシア 居宅	記入者職氏名	田村 直洋
----	---------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現する。
2. SDGsに基づく「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」への取り組み。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が未永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 障がい者の方々の「生活介護」における高齢者との一体的サービスの提供と就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、安定した法人経営に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設準備。

II. 部門目標

1. 「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設となり自立支援に努める
2. 働き方改革に取り組む
3. 障がい者の方々の「生活介護」を、高齢者と一体的にサービス提供ができる共生型サービスへの取組みを早期に進める
4. 収入目標達成のために
5. シンシアゆうわにおける感染症・災害が発生した場合の業務持続可能計画を策定する

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 利用者様・ご家族様に寄り添い、選ばれる施設を目指す
 - ① 外出時や訪問時の身だしなみを双方でチェックし、相手に不愉快な印象を与えないようにする
 - ② 相談時や訪問時の対応に注意し相手に好印象を与えるようにする
 - ③ ご利用者様、ご家族とよく話し合い自立支援のプランを提案できるようにする
 - ④ ご利用者様宅訪問時や公用車運転時等の事故対防止について注意を徹底する
2. 働き方改革に取り組む、働きやすい環境を整える
 - ① 年間10日以上の有給休暇が取得できるように職員間の連携を密にし、ご利用者様ご家族様との調整を確実にする
 - ② 業務の段取りを見直し残業時間を削減する
 - ③ 消耗品等の管理を行い、経費削減に取り組む
3. 障がい者の方々の「生活介護」を、高齢者と一体的にサービス提供ができる共生型サービスへの取組みを進める
 - ① 岩国市包括と連携を取り障がい者等の情報を収集し、共生サービスの取組みを進める情報を提供できるようにする
 - ② 障がいがある方も住み慣れた地域で生活が続けることができるよう支援する
4. 収入目標達成のために
 - ① 相談があったケースは断らず、シンシア居宅で積極的に担当する
 - ② 担当利用者様より希望があった場合、シンシアの事業所を紹介し恒和会全体の収益貢献する
 - ③ 入院時情報連携加算Ⅰ（200単位）を取りこぼし無く算定する
 - ④ 通院時情報連携加算（50単位）の算定要件を理解する
 - ⑤ 介護保険2021年度改正内容を理解し、事業継続に必要な情報の取得をする
5. シンシアゆうわにおける感染症・災害が発生した場合の業務持続可能計画を策定する
 - ① 感染症・災害時に事業を持続可能にする仕組みづくりを行う

令和3年度 事業計画書

部署	有料老人ホーム マ・メゾン	記入者職氏名	リーダー 川井 恭史郎
----	---------------	--------	-------------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進。

II. 部門目標

1. 新規事業に向けて、現業務内容の見直しと職員の意識改革を推進する。
2. 働きやすい職場環境を整え、離職ゼロを目指す。
3. 運営懇談会や家族会を機会に家族との連携を強化、ニーズの把握を行い、より良いサービス提供に繋げていく。
4. ICT技術の活用し、業務時間の短縮を目指す。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 新規事業に向けて、現業務内容の見直しと職員の意識改革を推進する。
 - ・現業務内容の「問題点の洗い出し→解決策の模索→実行→修正」のサイクルを繰り返し行い、業務改善につとめる。
(起床介助、食事提供、居室清掃、コール対応、定期巡回職員との兼務問題、ヘルパー職員との兼務問題、入浴介助)
 - ・職員全員が有料老人ホームのサービスをしっかりと理解し、利用者様、家族様に問題なく説明できるよう努める。
 - ・他サービスを利用することで職員の負担を分散できるよう、様々な事業所との連携を図る。
2. 働きやすい職場環境を整え、離職ゼロを目指す。
 - ・マニュアル化を行い、職員の目指す方向を分かりやすくする。
3. 運営懇談会や家族会を機会に家族との連携を強化、ニーズの把握を行い、より良いサービス提供に繋げていく。
 - ・コロナ対策のため面会が出来ない家族様のために、利用者様の近況が分かる運営懇談会を行う。
 - ・利用者様にアンケートを行い、ニーズの把握に努める。
4. ICT技術を活用し、業務時間の短縮を目指す。
 - ・タブレット端末の使用、記録の電子化を進めていき、業務時間の短縮を目指す。
 - ・データ化した情報から統計を取り、見える化していく。

令和3年度 事業計画書

部署	タリア	記入者職氏名	西依 昌子
----	-----	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設、運営。取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設準備。

II. 部門目標

1. 地域のための施設づくり
2. 総合事業の啓発活動の実施
3. 利用者様の獲得
4. IT導入推進により効率化と魅力を伝える

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

- 1-1-① にぎわいレストランやカフェタリア、地域支えあい大学の他、地域の皆様に集いの場を提供する
 - ② オレンジカフェ月一回開催
(認知症のある方やご家族の相談・情報交換のできる場所を提供する)
- ※1については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため取り組み中止
- 2-① 各通所サービス及びタリアと連携した利用者の移行や卒業を確立する
 - ② オレンジカフェや地域施設での情報の発信
(介護予防・日常生活支援総合事業サービスのサービス内容を認識してもらう)
- ※②については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため取り組み中止
- ③ かかりつけ医への情報報告書提出の継続・営業の実施
- 3-① 総合事業は新型コロナ渦でも昨年の「39%以上」を維持する
- 4-① ホームページ、インターネットを利用した情報発信
 - ② IT導入で常に新しい情報を伝える
(トレーニング方法やキネシスの利用方法など)
 - ③ ウェルネスシステムキーを活用
(トレーニングプログラムや結果をデータ化し管理する)

令和3年度 事業計画書

部署	訪問看護ステーション	記入者職氏名	守友弘美
----	------------	--------	------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員との二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設、運営。

II. 部門目標

1. 利用者とその家族が、住み慣れた地域（自宅）での在宅医療を最期まで支える。
2. 医療機関・関係事業所・地域との円滑な関係を作り、ケアの質の向上を図る。（医療連携）
3. 有給休暇、子育て支援等働きやすい職場づくりに取り組み、人員確保と人材育成を図る。
4. 法人の理念「真心・誠実・優和」をもとにホスピタリティを大切にす誠実な看護を提供する。
5. 事業所運営の基盤整備を行い新規事業への準備・安定した経営ができる。
6. 看護小規模多機能型居宅介護事業の準備を進める。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 住み慣れた地域（自宅）での在宅医療を最期まで支える。
 - ①24時間切れ目のないサービスを提供するために看護師と介護職が協働し、利用者主体で支えていく。
 - ②地域の訪問看護ステーション、地域連携室、ケアマネージャー、市役所や保健センター等と情報の共有、情報交換をする。
 - ③介護者（家族）のレスパイトや生活全般の支援を実施し個別のニーズに合わせたサービスの提供をする。
 - ④在宅ケアサポートセンターなどを利用し、一体型の成功事例や情報共有の場を企画運営する。（年2回）
 - ⑤感染対策、災害時における訪問トリアージを医療機関・関係機関と共有する。
2. 医療機関・関係事業所・地域との円滑な関係を作り、ケアの質の向上を図る。（医療連携）
 - ① 日ごろから懇意にしている医師（病院）と信頼関係を築くために医療機関への訪問をする。（毎月1回 週1回）
 - ② 電子ツールでの連携を進める。
3. 有給休暇、子育て支援等働きやすい職場づくりに取り組み、人員確保と人材育成を図る。
 - ①各勤務時間内の業務を明確にし、協力・連携が取れる体制を作る。
 - ②困ったときに報告相談連携ができる臨機応変な対応と悩み事が言いやすい事業所にする。（ミーティング月1回）
 - ③法人内の職員が連携し、相互理解のもと業務の協力をする。
4. 法人の理念「真心・誠実・優和」をもとにホスピタリティを大切にす誠実な看護を提供する。
 - ①「自分や自分の家族にしてほしいケア」を実践するため、訪問時には病状の把握や困りごとをしっかりと聞き、医師に指示のもと訪問看護計画に結び付ける。
 - ③ 安心安全なケアを提供するために勉強会・研修・看護手順マニュアルの作成と順守をする。
 - ③「看取り」「在宅ケア」に関する知識と技術を身につける。
5. 利用者の獲得と安定した事業所運営ができる。
 - ① 収支計画を明確にし、安定した収入を保つために算定できる加算はきちんと算定する。
 - ② 請求業務を確実にし漏れのないようにする。

③ 効果的な訪問スケジュールを計画し一日の訪問件数を増やす。

6. 看護小規模多機能型居宅介護授業の準備を進める。

①各担当・部署との連携を密にし業務遂行スケジュールを詳細にして実行する。

②利用者の選定並びに訪問看護、介護、通い、泊りなどのサービスについてシミュレーション。

③医療的ケアの基礎研修を行う。(担当を当てる)

④業務追行のための準備を行う。(勤務体制 マニュアル類 帳票類 感染対策などの必要書類作成)

⑤経営面の知識を身につける。

令和3年度 事業計画書

部署	ゆうわ総合在宅サポートセンター古開作	記入者職氏名	課長 富田 素弘
----	--------------------	--------	----------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員の二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規施設の完成・開業へ向けた準備の推進。

II. 部門目標

1. 共生社会の実現を目指した総合相談機能の礎を築く
2. 看護小規模多機能型居宅介護の円滑な開設を実現する
3. 本部での既存事業における利用者獲得のための活動
4. 本部での既存事業のうち訪問系サービスの柳井市中央部における事業展開の実現
5. 地域医療と恒和会の事業との連携強化の実現

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 共生社会の実現を目指した総合相談機能の礎を築く
 - 総合相談事業
 - ・医療機関からの退院患者の在宅生活の支援
 - ↳在宅支援に当たっては、ケアプランセンターの介護保険制度による課題解決のみでなく、制度の枠を超えた支援プランを提案並びに運用をマネジメントする
 - ・介護、福祉、障害等の制度の枠を超えた相談（漠然と不安を抱えた相談者に対し）
 - ↳課題解決に必要なサービス（制度）利用の助言、関係機関の紹介（顛末まで追うことを原則）
 - ↳相談者のうち介護保険制度の利用が適当な場合ケアプランセンターへケースを引き継ぐ
2. 看護小規模多機能型居宅介護の円滑な開設を実現する
 - 広報事業
 - ↳関係機関への情報提供（週1回関係機関訪問時）
 - ↳事業者向け勉強会（講演会）時に広報活動
 - ↳公開介護講座の企画、開催（一般向け）時に広報活動
3. 本部での既存事業における利用者獲得のための活動
 - ケアプランセンター事業
 - ・介護老人保健施設入所者の在宅復帰に対し
 - ↳介護老人保健施設支援相談員と連携した復帰後の課題を解決できるプラン提示
 - ↳復帰後の法人内サービスの強みを生かした居宅サービス計画の立案
 - ・総合相談の対象者のうち介護保険サービス利用が適当な利用者に対し
 - ↳中重度を中心に法人内サービスの強みを生かした居宅サービス計画の立案
 - 総合相談事業

・相談者へ法人内サービスの迅速な提供

↳法人内サービスの空き状況のリアルタイム把握方法の確立

↳各事業相談員への情報提供とケースの進捗状況の把握

○広報事業

↳関係機関への定期的な情報提供（週1回関係機関訪問）

↳公開介護講座の企画、開催（一般向け）

4. 本部での既存事業のうち訪問系サービスの柳井市中央部における事業展開の実現

○広報事業

↳関係機関への定期的な情報提供（週1回の事業所訪問）

5. 地域医療と恒和会の事業との連携強化の実現

○広報事業

↳関係機関への定期的な情報提供（月1回の事業所訪問）

↳外部講師を招聘しての関係機関との勉強会（講演会）の企画、開催

令和3年度 事業計画書

部署	シンシアタリア	記入者職氏名	浅井 英勇
----	---------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現する。
2. SDGsに基づく「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」への取り組み。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が未永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員との二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 障がい者の方々の「生活介護」における高齢者との一体的サービスの提供と就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、安定した法人経営に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設準備。

II. 部門目標

1. 収入目標を達成する。
2. 利用者・職員が共創し、相互満足できる事業所にする。
3. 事故を防止し健康寿命を延ばし自宅での生活を続けられるようにする。
4. 家族会の実施
5. 経費削減

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標を達成のために
 - ① 稼働率30%以上を達成する
 - ② 包括を中心とした営業を月2回以上行う
 - ③ 居宅へのアピールとして毎月のデイ通信を作成、デイの特徴を載せ、配布する
2.
 - ① ホスピタリティの研修を、年2回行う。
 - ② 職員だけの考えを実行するのではなく、利用者の意見も取り入れた活動を行っていく。
3.
 - ① 寝たきりになる要因の、転倒、転落等による事故率を0%にする。
 - ② 効率よく運動、リハビリができるよう、ADLに応じたグループ分けし行う。
 - ③ 利用者同士のコミュニケーションを増やし、孤立することを防ぐようにする。
 - ④ 送迎時による、車両事故を起こさないように安全運転の徹底。
4. シンシアでの家族会実施に向けた取り組みを行う。
 - ① 本部で開催される家族会に参加し、家族会に関する情報を得る
 - ② 本部の家族会関係者との連携を取り、実施計画を作成する
 - ③ 家族会の実施日を決定する
5. 経費削減
 - ① 利用者が乗車していない時のアイドリングストップを徹底する。
 - ② 冷暖房の適正温度での使用を徹底する。

令和3年度 事業計画書

部署	栄養管理課	記入者職氏名	中尾千代子
----	-------	--------	-------

I. 法人事業目標

1. 恒和会の今年度の重点目標として、法人の理念である「真心、誠実、融和」を基に尊厳を重視し質の高い福祉サービスを提供するとともに、「心ある施設、心の通うゆうわ苑」真のホスピタリティのある施設に成長させるため、品格あるサービスの提供および働きやすい職場を実現し、雇用の安定・人材育成を図る。
2. SDGsに基づく持続可能な社会をつくるための17の目標のうち「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
3. 結果に基づく自立支援介護に努める。
4. コロナ禍での家族会の構築と共に、ご家族の皆様が末永く幸せに、安心して過ごしていただけるように、ご家族とゆうわ苑職員との二人三脚で、最期まで支え続ける仕組みを構築する。
5. 「生活介護」における障がい者と高齢者との一体的サービスの提供と障がい者の方々への就労支援への取り組みを行い、地域共生社会の実現に取り組むとともに、近隣の障がい者施設との連携を進める。
6. 2021年度介護保険制度改正・介護報酬改定に基づき、管理会計を作成、管理を行い、財務の安定化に努める。
7. IT、センサー等による業務等の省力化を継続して進める。
8. 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設、運営。

II. 部門目標

- 1 「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」の2項目を重点的に取り組む。
- 2 新規事業の取組みとして看護小規模多機能型居宅介護事業、住宅型有料老人ホーム、コミュニティカフェの開設、運営。
- 3 介護報酬改定の準備対策。
- 4 加算取得を確実にする。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

【社会貢献・地域貢献としての配食サービスの充実】

- ① 治療食、(減塩食、アレルギー食)嗜好面に配慮した食事内容を今以上のものにするために、定期的にアンケート調査をする
配送時のご利用様とコミュニケーションを取りながら、情報収集・安否確認をする。
- ② 苑利用以外の方への食事の提供をするために、他部署と情報共有をして地域の拡大をする。
拡大のために配送運転手の増員をする。

【住宅型有料老人ホーム、看護小規模多機能型居宅介護施設の食事の提供】

- ① 食事形態(刻み食、ミキサー食、ソフト食)の把握のため他部署と情報共有をする。
食事はセントラルキッチンで真空パックし、クックチルシステムで提供する。
ソフト食は試作、試食を繰り返し行いとりみ剤のパーセントを決定する。

② 家庭的な雰囲気づくり

食器は衛生面を配慮した強化磁器蓋付きとするために、見積りを取り検討する。

【地域交流カフェミューラブルの取り組み】

- ① 厨房内でカフェ担当者の人選をする。
- ② シェフと担当者の打ち合わせを行い、スケジュールの確認をし決定したスケジュールに沿って確実に実行。

【介護報酬改定の準備対策】

- ① 研修会に参加して内容の変更の確認をする。
- ② 質問事項をまとめて不明不安内容を解決する。

【加算取得を確実にする】

- ① 関連職種が共同して栄養ケア・マネジメントを行う体制を整備する